

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	介護実践の基本	教員氏名	下西 潤子
学年	専攻科	開講学期	前期
授業形態	講義	単位数	2単位
必修・選択	専攻科		
テーマ	介護を必要とする人への理解を深め、介護福祉士の役割を学ぶ		
ディプロマポリシー	1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2. 保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3. 保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養う	○
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者と高齢者を取り巻く環境を知り、様々な介護の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積みながらキャリア形成の基礎を培う	○
授業の概要	我が国の介護福祉サービスを必要とする人々を取り巻く環境は大きく変容している。そんな中、介護を必要とする人々が人生の最期まで尊重され、自分らしく生きて行くためには、確かな知識・技術と豊かな人間性を持った介護福祉士が必要である。本講義では、「介護福祉士の役割及び介護を必要とする人々の理解を深める」、また「個人の尊厳の保持・自己決定・自立支援等を具現化するために介護福祉士として求められる価値・態度・知識・技術が介護実践にどうつながっているのかを理解する」、「多様な介護現場で、介護を必要とする人々の安全を守り、介護福祉士自らの健康や安全が保障されるために必要なこと」等を学ぶ。		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護の歴史や介護福祉士を取り巻く社会状況を理解する</li> <li>② 社会福祉士介護福祉士法の誕生背景や改正ポイントを知る</li> <li>③ 介護を取り巻く課題を見据え、「尊厳の保持」「自立支援」について理解を深める</li> <li>④ 介護サービスの特徴と多職種の専門性を理解する</li> <li>⑤ 高齢者・障がい者の生活をICFの視点で理解する</li> </ul>		
テキスト	『介護の基本』 メジカルフレンド社		
参考書	『福祉臨床シリーズ10: 臨床に必要な介護概論』弘文堂		
	『介護福祉士国家試験ワークブック2018. 上下』中央法規	授業中にプリントを配布する	
ポートフォリオ	「介護に関する用語」		
課題の確認と成績評価方法	試験 60点 レポート・発表・感想 25点 授業参加度 15点		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション 人間と生活(人間の多様性の理解)
	授業外指示	「私が介護福祉士を選んだ理由」・「私はこんな介護福祉士になりたい」をレポート
第2回	テーマ 内容	介護従事者の倫理①尊厳の保持・自立支援—人権と尊厳(虐待)
	授業外指示	「高齢者虐待」など介護に関する新聞記事を探し感想を書く
第3回	テーマ 内容	介護福祉士を取り巻く状況 1 —介護の歴史・介護福祉士の成り立ち
	授業外指示	レポート「自分たちの身近でおこなわれている介護」 絵本「姥捨て山」
第4回	テーマ 内容	介護福祉士を取り巻く状況 2 —介護問題の背景
	授業外指示	新聞記事から介護に関する社会問題を探し、感想を書く
第5回	テーマ 内容	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ 1—社会福祉士及び介護福祉士法の改正
	授業外指示	「介護福祉士に期待されるものは何か」を考える
第6回	テーマ 内容	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ 2 —介護福祉士の専門性
	授業外指示	「求められる介護福祉士像」を読み感想を書く
第7回	テーマ 内容	介護福祉士の基本原則①—尊厳を支える介護「QOL」
	授業外指示	レポート「QOLを高めるために大切だと思うこと」
第8回	テーマ 内容	介護福祉士の基本原則②—尊厳を支える介護「ノーマライゼーション」
	授業外指示	ノーマライゼーションの考え方を理解する
第9回	テーマ 内容	介護福祉士の基本原則③—尊厳を支える介護「利用者主体-具体的な取り組み」
	授業外指示	利用者の「主体性」を尊重する大切さの意義を考えよう

第10回	テーマ 内容	自立に向けた介護①ー自立支援(エンパワーメントなど)と個別ケア(個別化の原理)
	授業外指示	あなたのなじみの人、モノ、自然、生活リズムが奪われたとしたら想像してください。
第11回	テーマ 内容	自立に向けた介護②ーICFの考え方
	授業外指示	自分の「出来る活動」と「している活動」について振り返る
第12回	テーマ 内容	自立に向けた介護③ーリハビリテーション(考え方・病院・施設・在宅のリハビリ)
	授業外指示	リハビリテーションの理念を考えてみよう
第13回	テーマ 内容	介護を必要とする人の理解①ー高齢者の暮らしの実際「経済、住宅、地域社会」
	授業外指示	あなたの身近に暮らしているらっしゃる高齢のかたの生活を考えてみよう
第14回	テーマ 内容	介護を必要とする人の理解②ー高齢者の暮らしの実際「高齢期の疾病の特徴」
	授業外指示	あなたの身近に暮らしているらっしゃる高齢のかたの疾病を考えてみよう
第15回	テーマ 内容	まとめ
	授業外指示	まとめ

## 2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	介護実践の基本	教員氏名	佐久間志保子
学年	専攻科	開講学期	後期
授業形態	講義	単位数	2単位
必修・選択	専攻科		
テーマ	介護における安全やチームケアの必要性、職業倫理を学ぶ		
ディプロマ ポリシー	1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。		○
	2. 保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。		○
	3. 保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。		○
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を再構築する	
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養う	○
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者と高齢者を取り巻く環境を知り、様々な介護の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける	
	科目群Ⅳ 実践	学んだ価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積みながらキャリア形成の基礎を培う	○
授業の概要	①介護における安全やチームについて学ぶ ②介護における「尊厳の保持」を支える職業倫理を学ぶ		
授業の 到達目標	①介護実践における連携が理解できる ②介護従事者の倫理を理解できる ③介護における安全の確保とリスクマネジメントを理解できる ④介護従事者の安全を理解できる		
テキスト	『介護の基本』メヂカルフレンド社		
参考書	『介護福祉士国家試験 受験ワークブック2018 上』中央法規		
	授業中にプリントを配布する		
ポートフォリオ	ワーク12「自分自身の健康状態を観察しよう」		
課題の確認と 成績評価方法	試験60% 授業内レポート20% 授業の取組み20%		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	介護福祉士の職業倫理の理解する
	授業外指示	介護福祉士の職業倫理を振り返る
第2回	テーマ 内容	事例を通して、利用者の安全確保を学ぶ
	授業外指示	利用者の日常生活を支えている視点を事後学習する
第3回	テーマ 内容	介護を実践するために個人情報保護・プライバシーの保護の理解を深める
	授業外指示	介護を実践するために個人情報保護・プライバシーの保護の理解を振り返る
第4回	テーマ 内容	薬剤の基礎知識を理解する
	授業外指示	内服薬の服用時の注意点について事前学習する
第5回	テーマ 内容	薬剤介助時の介護を学ぶ
	授業外指示	高齢者に多い薬剤を事後学習する
第6回	テーマ 内容	内服薬の介助と、点眼薬の介助を演習する
	授業外指示	薬剤の介助で注意する点を事後学習する
第7回	テーマ 内容	まとめ(レポート1回)
	授業外指示	介護福祉士の役割を振り返る
第8回	テーマ 内容	在宅における安全対策を学ぶ
	授業外指示	在宅における安全対策を振り返る
第9回	テーマ 内容	演習を通して、施設における安全対策を学ぶ
	授業外指示	演習を通して、施設における安全対策を振り返る

第10回	テーマ 内容	施設で生活する安全性のまとめ(レポート2回)
	授業外指示	施設で生活する安全性を振り返る
第11回	テーマ 内容	介護職が行う防火・防災対策を理解する
	授業外指示	介護職が行う防火・防災対策を振り返る
第12回	テーマ 内容	介護従事者の感染予防を理解する
	授業外指示	介護従事者の感染予防を振り返る
第13回	テーマ 内容	介護従事者のストレス・バーンアウトを理解する
	授業外指示	介護従事者のストレスを軽減する方法を事後学習をする
第14回	テーマ 内容	介護職のための労働安全を理解する
	授業外指示	労働安全の事後学習をする
第15回	テーマ 内容	まとめ
	授業外指示	介護実践をする上で、チームワークの必要性とそれぞれの役割を総括する